

- 問1 平安時代中期の貴族文化においては、藤原頼通によって建立された平等院鳳凰堂に代表されるように、末法思想の影響を受けて極楽浄土を願う文化が栄えました。このような藤原氏を中心とした摂関政治の時代から、後三条天皇による政治の転換点にかけての説明として正しいものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 後三条天皇は、遣唐使を廃止することで国風文化をさらに発展させることに注力した。 | 2. 平将門の乱が鎮圧された直後、武士の力を背景に後三条天皇が摂関家を追放した。 | 3. 後三条天皇は、自らが上皇となった後も政治を行う「院政」の仕組みを完成させた。 | 4. 藤原氏との血縁関係が薄い後三条天皇が即位したことで、摂関家による実権掌握が困難になった。 |
|--|--|---|---|
- 問2 平安時代の中期には、遣唐使の廃止などを背景として、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達しました。この時期、漢字を簡略化した「かな文字」を用いて紫式部によって執筆され、当時の華やかな貴族社会の様子を題材とした物語文学を選んでください。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|---------|
| 1. 源氏物語 | 2. 万葉集 | 3. 枕草子 | 4. 平家物語 |
|---------|--------|--------|---------|
- 問3 平安時代後期、奥州藤原氏が平泉に中尊寺などの寺院群を建立した背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 聖武天皇の命により、東北地方の安定を図るための国分寺として建立されたため | 2. 平清盛が推進した日宋貿易に対抗し、東北独自の金輸出ルートを確立するための象徴としたため | 3. 源頼朝の軍勢による攻撃を阻止するため、要塞としての機能を持つ巨大な寺院を建設したため | 4. 前九年・後三年合戦による戦没者を弔い、浄土思想に基づく平和な社会を築くことを願ったため |
|---|--|---|--|
- 問4 平安時代中期、藤原道長やその子の頼通は、自分の娘を天皇の后（きさき）として送り込み、その子供を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇の母方の親戚（外戚）として、天皇が幼少のときには摂政、成人した後は関白となって政治を行う体制を何といいますか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|-------|
| 1. 武家政治 | 2. 摂関政治 | 3. 執権政治 | 4. 院政 |
|---------|---------|---------|-------|
- 問5 藤原道長の娘である彰子が一条天皇のきさきとなり、その間に生まれた後一条天皇が即位した例や、平清盛の娘である徳子が高倉天皇のきさきとなり、その間に生まれた安徳天皇が即位した例に共通する、政治権力の背景にある立場を何と呼びますか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 執権 | 2. 管領 | 3. 守護代 | 4. 外戚 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問6 11世紀末、白河天皇が位をゆずって上皇となった後も、引き続き実権を握ることで始めた政治形態を何というか、次の中から選びなさい。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|---------|
| 1. 執権政治 | 2. 封建制度 | 3. 院政 | 4. 摂関政治 |
|---------|---------|-------|---------|
- 問7 9世紀末以降の日本において、国風文化と呼ばれる貴族文化が発達した背景の説明として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 南蛮貿易を通じてヨーロッパの文化が流入し、伝統的な日本の様式と融合したため。 | 2. 遣唐使が停止され、それまで取り入れられた唐の文化が日本の風土や感性に合うように消化・吸収されたため。 | 3. 日宋貿易によって中国から最新の仏教や学問が連続してもたらされ、それがそのまま定着したため。 | 4. 武士が政治の実権を握ったことで、それまでの貴族文化が否定されて素朴な東国文化が広まったため。 |
|---|---|--|---|
- 問8 日本の古代における文化の変遷について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。なお、古代の政治と暮らしを対比させた資料によると、律令政治が確立した時期から、文字の使用状況に大きな変化が見られたことが示されています。 (2020年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 奈良時代に菅原道真の建議で遣唐使が廃止されたことで、漢字を捨ててかな文字のみを用いる国風文化が誕生し、平安時代には正倉院に見られるような国際的な仏教文化が全盛期を迎えた。 | 2. 奈良時代には遣唐使によって唐の優れた文化が伝えられ、正倉院の宝物に代表されるような国際色豊かな文化が栄えた。その後、平安時代には日本人の生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字が広く使われるようになった。 | 3. 飛鳥時代にはかな文字を用いた和歌が広く親しまれ、奈良時代になると聖徳太子を中心に遣唐使が派遣されて、正倉院に納められるような大陸の仏教文化が日本に初めて伝えられた。 | 4. 飛鳥時代から始まった国風文化は、奈良時代の遣唐使の往来によって国際的な要素を取り入れて洗練され、平安時代に入るとかな文字の普及によって正倉院の建築様式に大きな影響を与えた。 |
|--|---|---|---|
- 問9 遣唐使の停止を建議した菅原道真は、その後の政争に敗れ、九州にある外交や国防の拠点へと左遷されました。この道真が最期を迎えた場所を何と呼びますか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 胆沢城 | 2. 大宰府 | 3. 平城京 | 4. 多賀城 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 平安時代後期の政治の変遷をたどると、藤原氏の栄華のあと、白河上皇による新しい政治形態が始まり、やがて保元の乱などの内乱を経て武士が台頭する時代へと移り変わります。この白河上皇による政治が、当時の政治体制に与えた影響として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 上皇がすべての土地を国有化したため、藤原氏が所有していた荘園がすべて没収され、公地公民の制が完全に復活した。 | 2. 上皇が仏教を厚く保護したため、寺院の勢力が弱まり、藤原氏が再び政治の実権を取り戻す結果となった。 | 3. 天皇の父や祖父が上皇として実権を握ることで、藤原氏が摂政・関白として政治を動かす仕組みが崩れ、摂関家の勢力は衰退へ向かった。 | 4. 上皇が武士を北面の武士として組織したことにより、藤原氏と武士が協力して朝廷を支配する安定した体制が築かれた。 |
|---|---|---|---|
- 問11 800年代後半から1000年代半ばにかけての政治統計において、1017年前後には公卿の大部分が藤原氏で占められるなど、特定の氏族が圧倒的な力を持っていました。この藤原氏の全盛期を築き、のちに平等院鳳凰堂を建立した藤原頼通の父にあたる人物は誰ですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 藤原不比等 | 2. 藤原良房 | 3. 藤原基経 | 4. 藤原道長 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問12 平安時代末期、武士として初めて政治の最高職である太政大臣に就任し、一族の全盛期を築いた人物は誰ですか。この人物は、自身の権威を示すために広島県の厳島神社を大規模に造営し、現在の神戸市にあたる大輪田泊を修築したことで知られています。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 織田信長 | 2. 平清盛 | 3. 北条泰時 | 4. 白河上皇 |
|---------|--------|---------|---------|